

## 「ゴース9号（パシフィックゴース）」の運用開始について

1. 昨年5月に日米両国の間で締結された交換公文を受け、米国海洋大気庁の静止気象衛星「ゴース9号」は、昨年12月に西に向けて移動を開始し、東経155度の赤道上の静止軌道に到達した。
2. その後気象衛星センターにおいて、画像取得、伝送試験等の各種試験を行ってきたが、本日15時の観測から「ゴース9号」の運用を開始した。これにより「ひまわり5号」と同様、的確な気象情報の内外への提供が継続される。
3. 「ひまわり5号」については、本日09時に観測は終了したが、引き続き「ゴース9号」により観測された画像の配信を行う。また万一「ゴース9号」に不具合が生じた場合のバックアップとして、その観測機能は引き続き維持される。
4. なお、「ゴース9号」の運用を機に、国土交通省の主催により、米国をはじめ内外の関係機関の方々をお招きし、「パシフィックゴース運用開始記念祝賀会」を、来る6月5日に東京都内で開催の予定。本祝賀会は、報道機関に対して公開いたします。